

ランピースキン病の発生に注意！

(国内への侵入リスクが高まっています)

◎「ランピースキン病」(届出伝染病)とは

- 牛、水牛が感染するウイルス性疾患で、皮膚の結節、水腫、発熱、流涎、泌乳量の低下などの症状を示します。
- 2019年以降、アジアで発生が拡大し、韓国では、2023年、1ヶ月以内に全土に拡大。今年8月にも発生。

※本病の症状である皮膚の結節については、Webで「ランピースキン病侵入防止 リーフレット」を、ご確認ください。



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所

◎本病に対する防疫対策の基本的な考え方(2024年1月防疫対策要領を策定)

- 被害を最小限にすることを目的に、発症牛の早期発見、隔離、移動の自粛または淘汰、ワクチン接種など速やかに、これらの対策を行います。
- ※国内の発生時に備え、ワクチンを備蓄。

◎発生予防

➤ 侵入防止

- 吸血昆虫(蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニなど)駆除として、殺虫剤の散布や、粘着シートを活用。
- やむを得ず、飼養器具等を持ち込む場合は洗浄、消毒(エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石鹼など)。

➤ 早期発見・早期通報

- 毎日の健康観察。

◎本病を疑う異状を認めた場合

- 速やかに、家畜保健衛生所までご連絡ください。
- 生きた牛等、生乳、精液などの移動の自粛。
- 飼養器具等を農場外に搬出する際は、農場出入口での消毒。

岐阜県中央家畜保健衛生所

岐阜市柳戸1-1 TEL:(058)201-0530 FAX:(058)201-0531

E-mail:c24502@pref.gifu.lg.jp

休日・平日の時間外の緊急連絡はTEL:090-7024-5269まで

